

## 関西学院大学 女性研究者研究活動支援者制度の利用について

### ■制度利用の手続について

- ①制度の利用を希望する方は、支援者の要件を満たす候補者を自身で選定し、利用申請書【様式①】と登録申請書【様式②】を所属学部・研究科事務室に提出してください。
- ②男女共同参画推進本部、申請者が所属する教授会・研究科委員会において、提出された申請書の内容が審査され、支援者の採用及び任期が決定されます。
- ③所属学部・研究科事務室より申請者・支援者に支援者の採用及び任期が通知され、支援者との雇用契約終了後、支援者の支援を受けることが可能になります。
- ④支援終了後には、研究支援を受けることで得られた効果を測定するため、利用者・支援者共に報告書【様式④】【様式⑤】を作成し、男女共同参画推進本部に提出してください。

※制度の利用申請については、年度ごとに申請していただくことになりますが、継続して制度を利用し、同一の支援者から支援を受ける場合は、登録申請書【様式②】の提出は必要ありません。但し、最終学位に変更がある場合は、登録申請書【様式②】を提出してください。

### ■利用者の要件

次の要件を全て満たす方が申請できます。

- ・専任教員、任期制教員、博士研究員の資格の方
- ・女性で、出産・育児のために十分な研究時間の確保ができない方
- ・原則、小学校卒業時までの子どもを養育する方  
(対象となる子どもの年齢の範囲は利用者の状況に応じて考慮します)

※産休中・育休中は就業が免除されている期間となるため、研究支援の利用は不可となります。  
(妊娠中の研究支援の利用は、利用者の状況に応じて判断します)

### ■支援者の要件

次の要件を全て満たす方を支援者として雇用することができます。

- ・利用者と同一または関連する分野を専攻する方
- ・支援活動をすることにより、支援者の研究者としての能力向上が見込める方
- ・支援者の給与支給基準に定められている資格に該当している方

### ■研究支援の必要性の判断基準

次の判断基準に基づき、男女共同参画推進本部が申請者間に優先順位をつけ、支援の必要性を判断し、支援者の採用や任期を決定します。

- ・子どもの人数、年齢
- ・配偶者の支援状況
- ・配偶者以外の方からの支援状況
- ・学内での業務負担の状況
- ・研究の状況

## ■支援者の給与支給基準

支援者の経歴に応じて、次の支給基準が適用されます。

資格	支給額
研究支援者Ⅰ種（修士課程在籍者・学士取得者）	時給 1, 250円
研究支援者Ⅱ種（博士課程在籍者・修士取得者）	時給 1, 700円
研究支援者Ⅲ種（博士取得者）	時給 1, 950円

## ■支援者の勤務場所

- ・原則として利用者の研究室（利用者・支援者の自宅や学外の研究室は不可）
- ・利用者の指揮・命令下で勤務する場合は、利用者の研究室以外の場所であっても、キャンパス内（図書館等）であれば勤務可能

## ■支援者の勤務日・勤務時間

- ・原則、平日・土曜日勤務とする。  
ただし、学院が休日と定める日（日曜日・祝日・年末年始・創立記念日・夏季冬季休暇）でも利用者が出勤し、指揮・命令下で勤務させる場合は、支援者の勤務が可能（但し、割増賃金は発生しない）
- ・勤務時間は、1日8時間以内の勤務とし、超過勤務を命ずることは不可
- ・深夜（22時～翌朝5時）業務は不可

## ■支援可能な業務例

支援者に依頼することができる業務例は次のとおりになります。

- ・実験の補助（機器操作、データ採取、解析、図の作成、論文作成補助）
- ・資料検索、DBの作成、音声データの文字化（PC作業）
- ・学内図書館での資料収集、文献調査
- ・論文の英訳、和訳（補助）

※出張（国内・海外）については、不可

※原則として支援者の支援によって得られた研究の成果及び業績は、全て利用者に帰属します。  
（登録申請書と雇用契約書上に同意事項を記載し、支援者に署名捺印していただきます）

以上